

第2回

小学生

小麦粉を
使って!

ご当地アイデア料理

コンテスト



学ぼう! 作ろう!
伝えよう!



1 わたしたちの 地域の食を学ぼう!

地域の農産物や水産物、伝統的な食品・料理などを地域の人に聞いたり、調べたりして情報収集!

2 ご当地アイデア料理の レシピを作ろう!

学んだ地域の食材とあわせて小麦粉を使ったり、小麦粉が含まれる食品などを使用して、オリジナルやアレンジを加えたマイ料理レシピを作ろう!

3 友だちや地域、全国の人に レシピを伝えよう!

自分で考えた料理を「わたしのご当地料理自慢」として、友だちや地域の人、全国の人にPRしよう!

日本製粉では、子どもたちの「食への興味・関心」や「郷土への誇り・愛着」が育つように、「小学生ご当地アイデア料理コンテスト」を開催いたします。地域の人や家庭の保護者など出来るだけ多くの人と地域内でコミュニケーションを深めながら協力してもらい、子どもたちが「ワクワク」楽しみながら主体的に活動し、参加される事を期待しています。なお、応募一作品につき500円を、日本製粉が日本ユニセフ協会の「東日本大震災緊急募金」に寄付しますので、ふるってご応募ください。

応募1作品につき
500円を

日本ユニセフ協会
東日本大震災緊急募金
に寄付します!



第1回
最優秀賞

M・K・G枝豆パンバーガー
本栗市立本栗小学校 5年 芳賀舞子さん

第1回にもかかわらず、437点ものすてきな作品が届けられました。力作の中から「最優秀賞」に選ばれた作品をご紹介します。



トピックス 料理コンテスト提案発表会

「ユニセフ賞」に選ばれた糸魚川市立磯部小学校では、応募した子どもたちが、地域関係者に提案発表会を行いました。応募した作品の試食会も行い、南蛮エビとニギスを使ったレシピは参加した漁協組合や観光協会、県や市の職員のみなさんから大変感心され、「地元をPRする新しい味として商品化できないか検討していきたい」「市内のレストランでメニュー化したい」とおっしゃっていただきました。この模様は、地方TV局3社でも夜のニュースで紹介され、なお、地元の給食センターでも、新年度の給食として採用されました。



※他受賞作品は当ホームページでご覧いただけます。※メニュー写真はこちらで再現し撮影したものです。

ニッポン

検索

<http://www.nippon.co.jp>

日本製粉株式会社
〒151-8537 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5

小麦粉を使って!

第2回

小学生ご当地アイデア料理コンテスト

テーマ

オリジナルまたはアレンジした「ご当地小麦粉料理」

小麦粉料理とは?

小麦粉が料理や食材に含まれている、あるいは使用する料理(菓子類含む)のことです。例)パン、ラーメン、うどん、パスタ、素麺、冷や麦などの小麦粉で作られた食材を使用する料理。すいとん、お好み焼き、たこ焼き、餃子、グラタン、コロッケなどの小麦粉を使用する料理。

応募要項

応募期間 2012年 9月3日(月)~10月31日(水)
当日消印有効

応募資格 全国の小学生(学年は問いません)

作品の条件

「料理の写真(またはイラスト)」と「活動レポート」の **セットで応募1作品** となります。いずれも子どもの手書きによるもので、どちらか一方のみの提出は審査対象外となります。

料理の写真(またはイラスト)

●写真はL判サイズにしてください。活動レポート用紙にホチキスで止めてご応募ください。

※イラストはハツ切りサイズの画用紙を使用してください。(手書きもしくはカラーコピーしたもの)

※色づけに使用するものは、水彩絵の具か色鉛筆を使用してください。



活動レポート

- 1 所定の「活動レポート用紙」を使用してください。
- 2 学校名・名前・学年とクラス
- 3 作品名(料理の名前)
- 4 レシピ(分量は1人分)作り方と分量など
- 5 料理を考えるうえで元になった活動、お世話になった人、教えてもらったことなどの「まとめ」を活動レポートとして作成。
- 6 考えた料理のことや使った地域の食材などについて「わたしのご当地料理自慢」として、住んでいる地域名「〇〇市(県)」と「食」という字を入れてPRコメントを作成(100~200字)。

料理レシピの作成について

- 地域の農産物・水産物・特産品などの食材を使用したオリジナル、もしくは地域の食文化や特色・特性を踏まえてアレンジを加えるなどした、地域との結び付きがわかるような作品に限ります。(地場産物の使用有無は規定しません)
- 料理のなかに、小麦粉が含まれる食材を使用しているか、もしくは小麦粉を使用した料理で、未発表作品であること。
- 学校での教育活動の一環として、授業や家庭での課題として作成するなどしたものに限ります。
- 当コンテストを目的として、学校の授業等で小麦粉関連商品を使用する際は、商品提供のご相談をさせていただきますので事務局までお問い合わせください。(ただし、学校からのお問い合わせのみとさせていただきます)

地域の人材やゲストティチャーの活用及び家庭での保護者協力について

- レシピ作成には、出来るだけ地域の人材活用やゲストティチャーによる指導、家庭での保護者の協力により行ってください。ただし、子どもが主体的に活動を行うよう、学校で教育活動との関連性にご留意願います。



ダウンロード

「活動レポート用紙」「学校応募票」「教師用マニュアル」は、下記URLより事前登録後ダウンロードできます。
http://www.dff.jp/nippn_sekainokodomo/ryouri/

応募方法

1セット(料理の写真、活動レポート)ずつホチキス止めにした子どもたちの作品と、所定の「学校応募票」に学校名、学校長名、学校住所、連絡先電話番号、担当教諭名、応募者の名簿(学年とクラスも記載)を記入のうえ、封書もしくは梱包して以下の送付先まで郵送(宅配可)してください。**小学校担当教職員からの応募のみ受け付けさせていただきます。**

※学校印や学校長印は不要です。※応募作品につきましては、①入賞作品の著作権、著作権は主催者に帰属します。②応募作品は理由を問わず返却出来ませんのでご了承ください。

送付先

〒105-8436 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F 「小学生ご当地アイデア料理コンテスト」事務局(日本教育新聞社内)

賞品

最優秀賞(1作品)

表彰状と図書カード(3万円)、日本製粉ギフトチケット、再現料理写真など。

優秀賞(5作品)

表彰状と図書カード(1万円分)、日本製粉ギフトチケット、再現料理写真など。

入賞(6作品)

表彰状と日本製粉商品、再現料理写真など。

審査・発表

厳正な審査の上、12月下旬頃に日本製粉HPで受賞作品及び、受賞者の学校名と名前を発表します。
審査員：日本製粉(株)取締役専務執行役員 福富 昇 他、武庫川女子大学講師 藤本 勇二
公益財団法人日本ユニセフ協会 個人・企業事業部 部長 遠藤 剛 他

寄付について

応募1作品につき500円を、ご応募いただいた方に代わって日本製粉が日本ユニセフ協会「東日本大震災緊急募金」に寄付します。

お問い合わせ

「小学生ご当地アイデア料理コンテスト」事務局(日本教育新聞社内) 担当：林
〒105-8436 東京都港区虎ノ門1-2-8虎ノ門琴平タワー8F
電話03-5510-7804 FAX 03-5510-7802
日本製粉株式会社 担当：有川 電話03-3350-2368
メールでのお問い合わせ：nippn_sekainokodomo@dff.jp

■個人情報の取り扱いについて

作品募集で得られた個人情報は、法律に基づく命令などを除いて、主催者及び事務局のみの使用且つ、本コンテストなどの教育目的に関わるご連絡以外には使用いたしません。また、第三者への提供も致しません。